



2018-2019年度

RI会長

バリー・ラシン

RIテーマ

BE THE INSPIRATION

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 今井高志 会長 ● 山内一晃 幹事 ● 佐々木悦郎 SAA ● 神山智子

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30開会

11月 ロータリー財団月間

vol.21

第2341回例会

2018.11.27

司会：小澤一雅副SAA

- ・RIテーマ
- 点鐘
- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・4つのテスト

ビジターの紹介

八戸RC 築館智大君 小城直樹君
永倉 浩君 村館珠樹君

誕生日祝い

伊藤 文也会員 児玉 禎之会員



小向 龍悦会員

会長要件

山内一晃会長

松戸東RCの矢口会長からお手紙が来ておりました。「先日は大変お世話になりました。余興のえんぶりでは地元文化を感じることができ、とても楽しく見させていただきました。また、二次会の設営までして頂きありがとうございます。当クラブの石井バスターガバナーはカラオケが大好きですので、二次会で歌えた事に大変満足しておりました。三次会では源新ガバナーノミニよりご紹介頂いたお店で楽しませて頂きました。他の会員も八戸北RCの会員と別のお店で親睦を深めたようです。二日目の観光も皆様には大変ご苦労をお掛けしましたことに感謝申し上げます。このように機会を設けることで刺激がいながらよいクラブ運営をしていけたら幸いです。これからもよろしくお願ひ致します。山内年度が素晴らしい年度になることを祈念申し上げます。またクラブ会員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。素晴らしい二日間をありがとうございました。」大変楽しんで行かれたようです。大越前会長からは、その日ネクタイを忘れて北山会員から借りたようでニコニコを送って頂きました。

11月はロータリー財団月間です、ということで国際ロータリーから来ていました。11月27日、今日「寄付の火曜日(Giving Tuesday)」に指定されているそうです。「私たちはよくロータリー財団を私たちの財団と呼んでいます。ほとんどの慈善事業とは異なりロータリー財団は真の意味で私たちの財団なのです。なぜならロータリー財団はロータリーファミリーと

その活動によって支えられているからです。今年度、財団はすでに222件の地区補助金、総額3,190万ドルと、41件のグローバル補助金、総額1,190万ドルを承認しました。恒久基金と年次寄付をさらに成長させ包括的で持続的な未来を築いていくことが私たちの目標です。これらによってロータリーは世代をこえてインスピレーションになることが出来るでしょう。」今日のテーマは源新会員から財団の話をして頂くことになっております。皆さん噛みしめて聞いて頂きたいと思ひます。

ご挨拶

八戸RC 築館智大会長



皆さんこんにちは。突然4名でお邪魔しました。これはガバナーの方針のもとメーキャップを推進して下さるということなので、メーキャップツアーとして開始した第1回目です。次の金曜日に東クラブさん、来年も中央クラブさん、南クラブさん、最後に余裕があれば西クラブさんにも行ってこようかと考えていました。ガバナーが仰っているメーキャップもそうですけど、私たちは同じロータリアンとして親睦を深めていければなということです。ですから、私以外の3名もどんだん北クラブにメーキャップにきてくれればなと思っております。今日はよろしくお願ひ致します。

幹事報告

佐々木悦郎幹事

◎例会プログラムの訂正

◎八戸西RC例会変更

12月20日 クリスマス例会につき時間変更

12月27日 任意休会

親睦委員会報告

音喜多泉会員

ニコニコBOX

松戸東RC

大越竜美様：先日の八戸北RCと松戸東RC合同例会では大変お世話になりました。また私の不注意によりネクタイを忘れましたが、すぐにご用意を頂き助けて頂きました。皆様の友情に感謝を致します。例会の場ではニコニコをする間が無かったので、本日、北山様に託しニコニコをさせて頂きます。いつか、またお目にかかれる日を楽しみにしております。

八戸RC

築館智大会長：

八戸北RC

山内一晃会長：八戸RCの皆様、今日はようこそお出でくださいました。

源新和彦会員：遅刻申し訳ありません。

児玉禎之会員：誕生日祝ありがとうございます。

伊藤文也会員：誕生日祝ありがとうございます。80歳になりました。今後共宜しくお願ひ致します。

小向龍悦会員：お祝、ありがとうございます。

源新育子会員：八戸ロータリークラブの皆様ようこそ。

今日は宜しくお願ひします。

米山記念奨学金
奥寺良之会員：
奥井義則会員：
平野榮子会員：
ポリオ・プラス
平野榮子会員：
大沼 衛会員：
澤口忠彦会員：
神山智子会員：

出席報告

本日の出席率

68.3%

卓話「ロータリー財団」 源新育子会員

11月は皆さんご存知のとおりロータリー財団月間です。1956年、最初はロータリー財団週間で財団を強調するようクラブに推奨したというのが始まりで、これが効果的だったので、1982年、毎年11月をロータリー財団月間と定めております。2015年からは新しいシステムが始まり、開始後は6つの重点分野が各月に充当されております。何のために私たちが寄付をするのか、寄付はどのようなことに使われ、どのように役立っているのか、財団の基本的な仕組み、それから私たちが寄付したことによって色んな奉仕プロジェクトが世界の平和に大きく貢献していることなどをクラブで理解し話し合ひしましょう、というのが月間の目的になります。

大まかな出来事だけですが、歴史を見るとここまでロータリーが大きくなったことに感動する出来事がたくさんありました。1917年、アーチ・クラフが世界で良いことをしようと提案しロータリー基金としてスタートしたのが財団の始まりです。1928年、ミネアポリス国際大会でロータリー財団として認証され、国際ロータリーから独立した別機関となりました。アーチ・クラフ元RI会長はじめ5名の管理委員会が管理運営することでスタートしました。ロータリー財団を大きく飛躍させたのが、1947年、ポール・ハリスの死後。1月27日に78歳で亡くなり、多くの人々からポールの死を悼む寄付が寄せられ、財団ではポール・ハリス記念基金として寄付を募ったところ、わずか1年半ほどで130万ドル以上集まったということです。この年に初めて財団のプログラムとして国際親善奨学生が実施されました。1957年、財団の活動に寄付した人々に感謝を示す手段としてポール・ハリス・フェローの認証が開始されました。

ロータリー財団がどんどん発展していくと、国際ロータリーと財団との摩擦や様々な問題も出てきました。ここで将来の財団の発展を見据えた選択をしなければいけないと、アンケートをとったり試験をしてみたりということで、2008年RI理事会は新しい補助金システム「ロータリー財団の未来の夢計画」を承認しました。2010-11年から3年間、500以上の地区から100のパイロット地区が選ばれて、テスト期間として様々なプロジェクトが実施されました。当地区もパイロット地区に選ばれて、識字率水事業を当時実施していましたので参加しております。2013-14年度に新しい補助金プログラムが実質的に全世界に導入され少しずつ移行されていきました。2015年7月1日からは財団の新しい未来の夢計画シェア・システムが全地区で導入されて現在に至っているということになります。

未来の夢計画の目的は、プログラムや手続きをシンプルにし迅速に対応する。世界の優先的ニーズに焦点をしばり、持続可能で大きな影響をもたらせるプロジェクトを推進する。地元と海外の両方の活動を支援し奉仕の成果をもっと確かなものにする。地区レベル、クラブレベルで自分たちの活動・自分たちの財団という意識を高める。ロータリーの公共イメージを高める。ロータリーを知ってもらうことによって、会員拡大、ロータリアン以外からの財団への寄付の拡大、そして財団の発展に繋がるということによってこれが目的になります。

新しい補助金体制における6つの重点分野。平和と紛争予防・紛争解決。疾病予防と治療。水と衛生。母子の健康。基礎的教育と識字率向上。経済と地域社会の発展。

寄付分類は3種類です。年次基金寄付、寄付の基盤で使役道を指定することなく財団に寄付するもので、3年後に50%が国際財団活動資金(WF)に、50%が地区財団活動資金(DDF)として使用されます。使役指定基金・その他の基金寄付、予め使役道を決めて寄付するものでポリオ・プラス、ロータリー平和センター、また承認済みの補助金プロジェクトへの寄付、臨時に設置された災害復興基金などへの寄付があります。恒久基金寄付、元金はそのまま投資収益を財団プログラムの支援に使われます。恒久基金は2025年度までに20億2500万ドルの目標を掲げており、現在10月までの累積で12億7900万ドル、あと7年ありますのでおそらく目標は達成すると思います。

新しいシステムは、3年前の年次寄付と前年の10月までの恒久基金の収益から利用可能額が決定しその年度に使われます。WFは主に国際グローバル補助金と同額補助され、DDFは各クラブの地区補助金として使われます。グローバル補助金は2カ国以上のクラブ・地区で最低1万5千ドル、同額補助ができるので3万ドル以上のプロジェクトになるのでなかなか厳しく、グローバル補助金が残っていても地区補助金には使えないので残っている地区が結構あります。来年度とその次の年度、2年間テスト期間として、繰り越しているグローバル補助金を少しでも地区補助金で活用するようにしてみようとしています。2019年1月1日より申請になります。

新しい財団のプログラム。地区補助金。グローバル補助金、6つの重点分野に活用する3万ドル以上のプロジェクト。パッケージ・プラント、財団が立案して戦略パートナーと合同で長期的で大規模なプロジェクトを実施するもので5万ドル以上のプロジェクトで重点分野に活用する。ロータリー平和センタープログラム、紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェローシップ、奨学金。ポリオ・プラス・プログラム、ポリオの世界撲滅の証明は国際ロータリーの最優先事項となっています。

ロータリー財団が発展してきておりますが、その財団の内容は、アメリカのチャリティ・ナビゲーターという格付け機関に於いて10年連続で最高賞をとっております。ロータリー財団の管理能力、説明責任、透明性、実績などが他の団体より非常に優れていると高く評価されたということです。

国際ロータリーとロータリー財団は、それぞれの使命によって奉仕の理想を実現するための両輪、一つの目標に向かって活動している一つの団体と考えて頂ければOne Rotaryの意味がお分かりになるかと思ひます。国際ロータリーとロータリー財団は、独立した法人でそれぞれが活動する国の法律や会計基準を順守しています。しかし、理念上、一つのロータリーとして機能しています。ロータリアン、私たちは会費を通じてロータリーを支援して、寄付を通じてロータリー財団を支えていると言ってもいいかと思ひます。100年前アーチ・クラフが世界でよいことをしようと提案した財団の目的の一つは、それぞれの経済力の範囲内でやりくりする。いざというとき、戦争・災害のとき役立つように貯金をしよう。子孫の未来のために恒久的な財産を作ることと考えて、財団を提案したということです。まさにその思ひが形になっていると思ひます。私たちは人のために奉仕をして、人のために世の中のために寄付をしていると思ひているかもしれないけれども、逆にお金では変えない、目では見えない多くの仲間や学び、気付き、たくさんの奉仕の感動など、すでにロータリーからたくさんのプレゼントを頂いているのではないかと私思ひます。この11月のロータリー財団月間を通して一人一人がロータリーに対する思ひを今一度考える機会にして頂ければ有り難いと思ひます。ご清聴ありがとうございました。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)